

ノオト

ノオトはNPOアスイクが発行するニュースレターです。
発行 NPOアスイク
TEL 090-4554-9988
URL <http://asuiku.sendai-net.com/>
Email asuiku0328@gmail.com
住所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3
NPOアスイク レターケース84番

団体紹介

震災に遭遇した子供たちが、ハンデを負うことのないように

この度の震災で被害を受けられた皆さまには、心からお見舞い申し上げます。NPOアスイクは、東日本大震災が発生してから約2週間後の3月28日に立ち上がった民間の組織です。震災による学校再開の遅れや避難所生活の長期化による、子どもたちの学習習慣の喪失、学習意欲の低下を防ぎ、震災に遭遇した子どもたちが将来にわたってハンデを負わないことを目指して、今日まで学習サポート活動を継続してきました。

4月から6月は主に避難所での活動に注力し、実施場所は4市町9カ所（仙台・多賀城・石巻・巨理）、実施回数は計58回、参加した子どもはのべ444人にのぼります。ゼロから立ち上がった団体が3ヶ月でここまでの実績を残せたのは、教員志望の大学生たちや教育関連の企業の方々の、“被災した子どもたちのために何か自分たちの力を役立てたい”という思いに支えられてきたからに他なりません。これまでお力添えくださった皆さまには、心から感謝申し上げます。

また、7月からは多くの避難所が閉鎖したことに伴い、活動の軸を仮設住宅団地に移し、仙台市・多賀城市の仮設住宅団地4ヶ所で学習サポートの活動を開始しています。これからは、お子様や保護者の皆さまとの関係性を築きながら、長期にわたって活動をつづけていく所存です。その一環として、今月からニュースレター「ノオト」を毎月発行し、日々の活動状況のご報告や、活動に加わっているメンバー、今後の活動予定のご紹介などを行なっていくことにいたしました。まだまだ立ち上がって間もない組織のため、至らない点多々あるかと存じますが、何卒長い目でお付き合いいただければ幸いです。

活動報告

六郷児童館夏休み学習サポート

アスイクでは8月1日から24日にかけて、六郷児童館・児童クラブで朝の学習時間のサポートをして参りました。六郷児童館の児童クラブには小学1～3年生の児童が40人以上

登録をしている一方で、1日に来る先生は4人ほど。子ども一人ひとりの学習指導には毎年苦勞をされているということで、アスイクにお声掛けをいただきました。

夏の暑さも吹き飛ばすくらいに、子どもたちは毎日元気、元気!! 夏休みが終わってもまた行きたいと思ってしまうくらいに、楽しい時間となりました!



仮設住宅集会所に学習システム導入

8月18日、荒井小学校用地仮設住宅内集会所に、1台のパソコンとプリンターがアスイクスタッフの手によって運び込まれました。ただのパソコンではありません。このパソコンには、大阪の教材会社・日本コスモトピアさんが開発した自学自習力育成支援システム、その名も「学習クラブ」が搭載されているのです。添えつけのファイルには、科目や単元ごとのテーマとバーコードが印刷されています。ここから自分が勉強したいテーマのバーコードをバーコードリーダーで読み込むと、なんとプリンターから教材プリントが印刷されてくるのです!

この日は大阪から日本コスモトピアの足立さん、宮沢さんも機材の設置と使用方法の説明のために駆けつけてくれました。実際に操作をしながらの宮沢さんの説明に、子どもたちは釘づけです。教材が津波で流されてしまったご家庭も多い中で、自分が学びたいプリントがいつでも手に入るこのシステムは、子どもたちの大きな力になってくれるはず。足立さん、宮沢さん、ありがとうございました!

サポーター紹介

仙台港背後地6号公園仮設住宅で、活動しております、沼野彩香と申します。

-この活動に参加したキッカケは?
自分にできる震災ボランティアを探していたところ、河北新報でアスイクの活動を知ったのがきっかけで参加しました。

-将来はどういう先生になりたいですか?
将来は、特別支援学校の教員を目指していて、現在は教員採用試験を受けている真最中です。自分で目標を持って、自分なりにがんばる力を引き出せる先生になりたいと思っています。

-アスイクでの活動は沼野さんにとってどういうものですか?
学校では教職課程を受講しているのですが、なかなか生徒自身と触れる機会が少ないので、このような機会をいただけて非常に感謝しております。

-最後に保護者の方へ一言お願いします
まずは、勉強に対する自信をつけてもらいたいと、奮闘しております。毎回活動の後は、もっとこうすればよかったと反省することも多いですが、教える技術など工夫していきますので、これからもよろしくお願いいたします。

(1988年生まれ。栃木県出身。東北福祉大 4年)



スタッフ紹介

代表の大橋雄介と申します。私は2010年の3月に、勤めていたコンサルティング会社から独立して、東京から仙台に移り住みました。その後、最近耳にする方もいらっしゃるかもしれませんが、ソーシャルビジネスという社会的な問題を解決する事業を立ち上げる人たちの起業支援に従事。独立から1年が経ち、やっと仕事が落ち着きはじめてときに今回の震災に遭遇しました。

義母から送られてきた一通のメール。「あなたが独立して東北に戻ったのは、この震災から東北を復興させるためだったのではないかと思います」。自分自身、そんな気持ちでアスイクという団体を立ち上げました。

(1980年生まれ。福島市出身。筑波大学卒業)



今後の活動

NPOアスイクでは、被災地の子どもたちを支援するために、いくつかの活動を計画中です。ここでは、その一部をご紹介します。

『被災地子ども白書』の出版

当団体にも、東京の大手企業、時には海外から「被災地の子どもたちのために何かしたい」という申し出をいただきます。しかし、遠方にいる人たちは（近くにいる人たちもそうかもしれませんが）どのような支援をすればよいか分からないのが実情です。そこで、現地で活動している当団体が保護者や子どもたちの代弁者となるべく、インタビュー調査を行ない、その結果を書籍として社会に発信していきます。

保護者の皆さま、ぜひこのインタビュー調査にご協力ください（個人情報には細心の注意を払います）。

☆メンバーズ・スペース☆ このスペースはアスイクの学習教室に来てくれているみんなに向けたコーナーだよ。1回目の今回は、アスイクからみんなに早口言葉で挑戦です。それは…

ミミズ・ミミズク・ミンミンゼミ

5回連続で言えるかな? レッツトライ!!!! このコーナーではみんなが考えてくれたおもしろいなぞなぞや、興味のあるランキングなんかを特集していくから、毎回楽しみにしててね! 思いついたアイディアは、サポーターか asuiku0328@gmail.comまで教えてね。待ってるよー!